

SEIKO WATCH CORPORATION
Copyright©2025 by SEIKO WATCH CORPORATION

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談室へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。
※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

SEIKO

8L45

機械式時計 取扱説明書
MECHANICAL WATCH INSTRUCTIONS

目次

1 操作について

製品取扱上の注意	3
メカニカルウォッチの特徴(手巻、自動巻)	7
各部の名称と主なはたらき	8
りゅうずについて	9
ぜんまいの巻きかた	10
時刻・日付の合わせかた	12
月末の日付修正について	15
簡易方位計の使いかた (簡易方位計つきモデルの場合)	16
簡易方位計の使いかた	16

2 ご注意いただきたいこと

お手入れについて	18
性能と型式について	19
ルミブライトについて	20
防水性能について	21
耐磁性能について(磁気の影響)	22
バンドについて	24
皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の 使いかた	27
アフターサービスについて	33
メカニカルウォッチの精度について	35
こんなときには	37
製品仕様	39

製品取扱上のご注意

△警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定される内容を示します。

次のような場合、ご使用を中止してください。

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。

万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

△注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください。

- | | |
|--|-------------|
| ○ 振発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど) | ○ 高湿度なところ |
| ○ 5°C~35°Cを外れる温度に長期間なるところ | ○ ホコリの多いところ |
| ○ 磁気や静電気の影響があるところ | |
| ○ 強い振動のあるところ | |

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 時計本体の廃棄については、自治体の指示に従ってください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
けがやアレルギーを引き起こすおそれがあります。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

△警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。
スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

△注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。

時計内部に水分が入ることがあります。

※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、
防水不良になるおそれがあります。



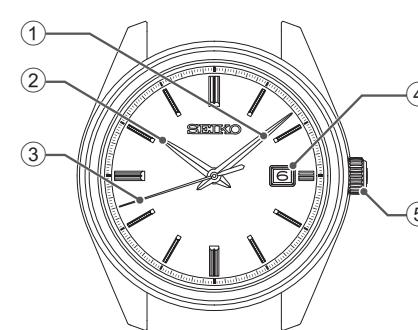
入浴やサウナの際はご使用を避けてください。

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることができます。

メカニカルウォッチの特徴(手巻、自動巻)

- この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- 止まつた状態からお使いになるときは、りゅうずを 20 回位手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- 精度はクオーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差(一日あたりの進み・遅れ)となります。
- さらに、お使いになる条件(携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等)によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- 外部から強い磁気の影響を受けますと、精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

各部の名称と主なはたらき

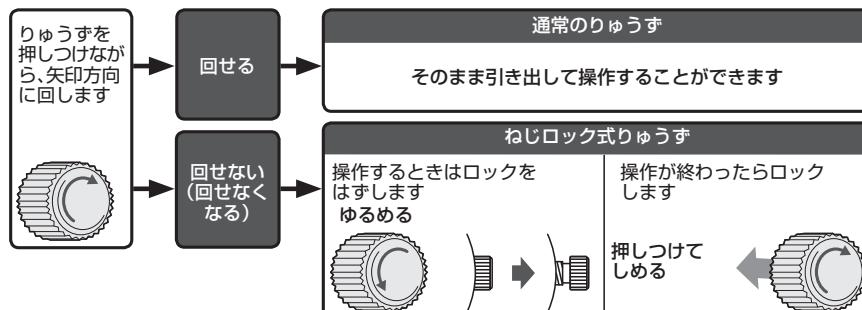


- | |
|--------|
| ① 分針 |
| ② 時針 |
| ③ 秒針 |
| ④ 日付 |
| ⑤ りゅうず |
- 0 段目(ロックを外した状態):
ぜんまい巻き上げ(手巻)
 - 1 段目: 日付合わせ
 - 2 段目: 時刻合わせ

※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。

りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のものの、2つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

ぜんまいの巻きかた

- この時計は、自動巻式機械時計(手巻つき)です。
 - ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。また、りゅうずをまわしてぜんまいを巻くこともできます。
 - 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずをまわしそれが十分に巻かれた状態にしまして、日付と時刻を合わせてから腕におつけください。ぜんまいを巻く際には、りゅうず 0 段位置で右回転方向にゆっくりとまわしてください。なお、りゅうずは左方向では空回りするようになっています。また、ぜんまいはフル巻上げ状態でぜんまいがスリップするようになります。ぜんまいを切る心配はありません。
- ※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外し、操作後必ずロックをしてください。
- ぜんまいが十分に巻き上げられた状態での可動時間は約 72 時間です。

※ぜんまいの巻き上げ量が不足しますと進み遅れの原因になりますので、1日10時間以上携帯することをおすすめします。また、時計を腕につかないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にりゅうずをまわしぜんまいを十分に巻いてご使用ください。

※ぜんまいが解けて止まった状態からお使いの場合、りゅうずでぜんまいを巻き上げても直ぐには動きません。機械式時計の特徴でぜんまい巻き始めのぜんまいトルク(力)が弱いためです。ぜんまいが巻かれてある程度の強いトルクに達すると秒針が動き始めますが、早めに動かすためには、時計を振りてんぶを強制的に回転させることで動かすことができます。

時刻・日付の合わせかた

この時計には、日付表示機能がついています。24時間に1回日付を一日分送るようになっています。日付は、「午前0時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、「お昼の12時」ごろに日付が変わってしまいます。

△注意

時刻表示が午後8時から午前2時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

1 りゅうずを1段目まで引き出す

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外してください。



りゅうずを1段引く

2 りゅうずを回転させ、日付の修正をする

前の日の日付に合わせます。

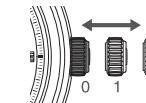
(例)合わせる日付が「6日」の場合、「5日」に合わせます。

りゅうずを右回り(時計回り)に回すことで日付合わせが行えます。

3 りゅうずを2段目まで引き出し、時刻を合わせる

秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。
(秒針が止まります。)

りゅうずを回転させ、針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。



4 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込む

秒針が動き始めます。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作後必ずロックしてください。

△注意

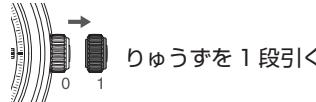
当ムーブメントは輪列機構上から時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

■月末の日付修正について

2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。
りゅうずを右回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。
※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作後必ずロックしてください。



△注意

時刻表示が午後8時から午前2時までの間、日付修正は避けてください。故障の原因になります。

簡易方位計の使いかた(簡易方位計つきモデルの場合)

- 太陽の見える、もしくは位置の分かる場所でお使いください。
 - お使いの地域で、サマータイムが有効になっている場合は、時計を1時間遅らせてからお使いください。
- ※簡易方位計であり、正確な方位を知るためのものではありません。

■ 簡易方位計の使いかた

● 北半球の場合

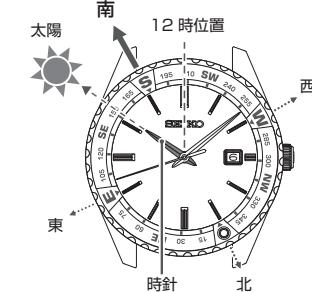
※緯度の低い地域(北回帰線より南)では季節により利用できない場合があります。

1 時計を水平に保ち、時針を太陽の方角に向ける

2 簡易方位計つきベゼル(リング)の「S」を、時針と12時位置の中間に合わせる

簡易方位計の方位表示がその地点の方位となります。

※リングの場合は、操作用のりゅうずなどがついていることがあります。



● 南半球の場合

※緯度の低い地域(南回帰線より北)では季節により利用できない場合があります。

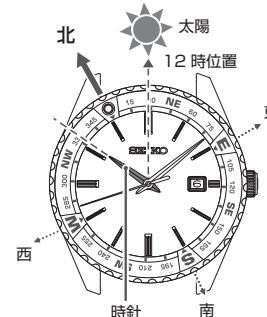
1 時計を水平に保ち、12時位置を太陽の方角に向ける

2 簡易方位計つきベゼル(リング)の「N」を、時針と12時位置の中間に合わせる

簡易方位計の方位表示がその地点の方位となります。

※「N」は他のマークの場合があります。

※リングの場合は、操作用のりゅうずなどがついていることがあります。



お手入れについて

● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- りゅうずを引き出して洗わないでください。
 - 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
 - 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※「防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
- 「性能と型式について」→ P. 19
「防水性能について」→ P. 21

● りゅうずは時々回してください

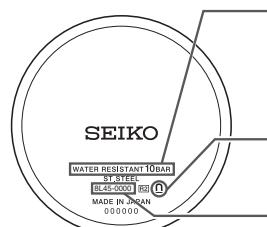
- りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。
「りゅうずについて」→ P. 9

性能と型式について

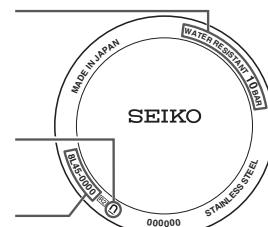
2

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。

ご注意いただきたいこと



防水性能



耐磁性能

型式番号

・防水性能

P. 21 を参照ください。

・型式番号

お客様の時計の種類を示す番号です。

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

JA 19

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明の明かりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~5 時間)発光します。光が当たらなくなつてから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐに順応しません。初めはものが見にくいけれど、時間の経過と共に見やすくなつてきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

<照度のめやすについて>

環境		明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000~3,000 ルクス
雨	雨	1,000 ルクス以下
	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

防水性能について

2

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。
(P. 19をご覧ください)

ご注意いただきたいこと

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないでください。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 △警告 水泳には使用しないでください。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20)BAR	日常生活用強化防水で 10(20)気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキダイビングに使用できます。

JA 21

耐磁性能について(磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まつたりします。

△ 危険

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)
□	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えていた場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかる有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁気の影響を受けます。

2

ご注意いただきたいこと

JA 20

2

ご注意いただきたいこと

JA 22

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ、そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

● 金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

● 皮革バンド

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいだ後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水 10(20)気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

● ポリウレタンバンド

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- ・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

● シリコンバンド

- ・材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。
汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- ・他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。 時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた

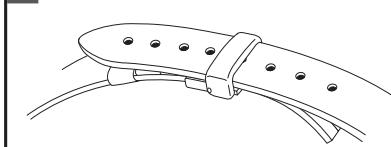
2

ご注意いただきたいこと

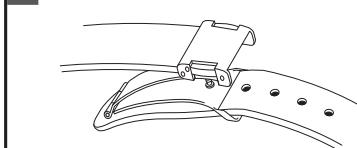
皮革バンドには、調整可能な三つ折れ式中留を用いたものがあります。

お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、それぞれの操作方法を参照してください。

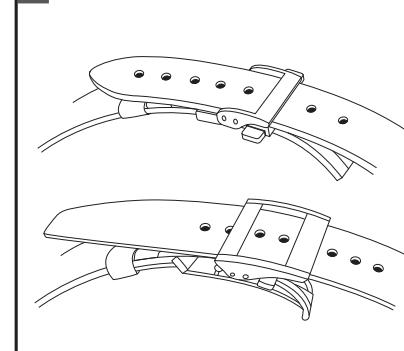
A Aタイプ → P. 28



B Bタイプ → P. 29



C Cタイプ → P. 30

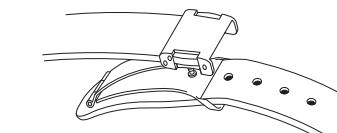


JA 27

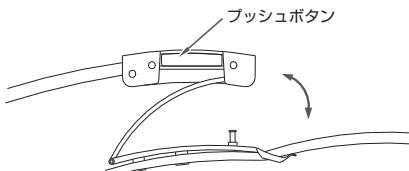
B Bタイプの使いかた

2

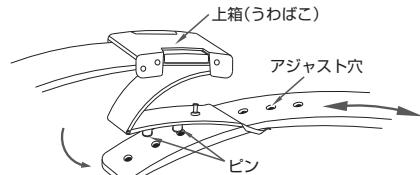
ご注意いただきたいこと



① プッシュボタンを両側から押しながら中留を開きます。



② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。上箱を押して、中留を留めます。

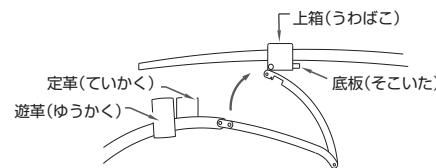


JA 29

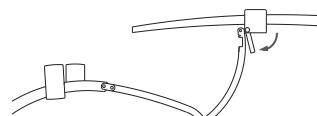
A Aタイプの使いかた

①

バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。

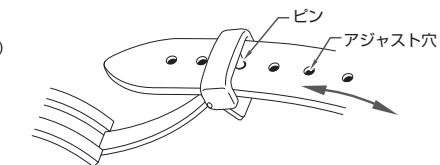


② 上箱の底板を下に開けます。

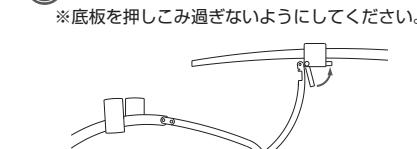


③

ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



④ 底板を閉めます。



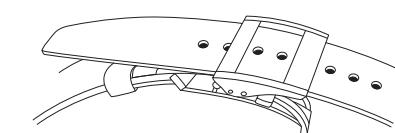
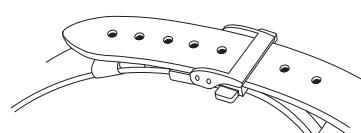
※中留を装着するときはバンド剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。

JA 28

C Cタイプの使いかた

2

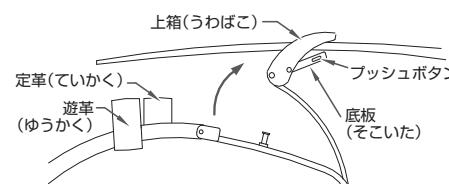
ご注意いただきたいこと



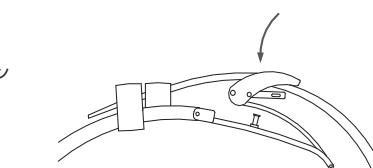
● 着脱のしかた

①

プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



② バンドの剣先(先端)を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかりと押さえて留めます。



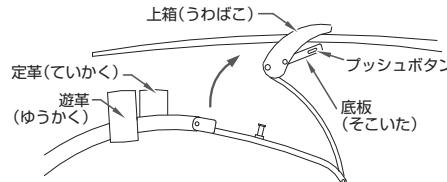
JA 30

● バンドの長さを調節するには

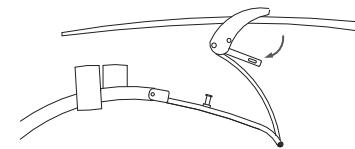
2

ご注意いただきたいこと

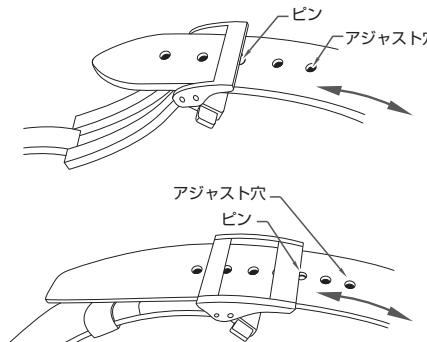
- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開けます。



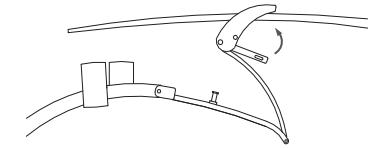
- ② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開けます。



- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。



- ④ 底板を閉めます。



2

ご注意いただきたいこと

JA 31

JA 32

アフターサービスについて

2

ご注意いただきたいこと

● 保証と修理について

- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

● 補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

● 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

2

ご注意いただきたいこと

- 長くご愛用いただくために、2年～3年に1度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。
- この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にお買い上げ後2年～3年目の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時刻の進み、遅れが大きくなったり止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

JA 33

JA 34

メカニカルウォッチの精度について

2

ご注意いただきたいこと

- メカニカルウォッチの精度は「日差」です。
- メカニカルウォッチの精度は時計の姿勢(向き)によって、進み／遅れ具合が変わり、またお客様のご使用になる条件(携帯時間・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など)により、所定の精度の範囲を超える場合があります。
- 1日のみの誤差で判断せず1週間程度の誤差で判断するようにしてください。

○ 精度の温度差

メカニカルウォッチの精度を作る部分には金属が使われています。金属の特性として、温度の変化によって伸び縮みすることは良く知られています。これが時計の精度に影響を与えます。メカニカルウォッチは高温下では遅れがちになり低温下では進みがちになります。

○ ぜんまいの巻き具合と精度

精度を高めるためには、歯車の速度をコントロールするてんぶに規則正しくエネルギーを補給する事が重要です。メカニカルウォッチの動力源であるぜんまいは、いっぱいに巻かれている状態とほどける直前の状態では力が異なり、ほどけるにしたがって力が弱くなっています。

自動巻式は頻繁に携帯していただく事で、また手巻式はぜんまいを毎日一回一定の時刻に十分に巻き上げて規則正しく動かす事で、比較的安定した精度が得られます。

○ 磁気の影響

外部から強い磁気の影響を受けますと、精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。

その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

2

ご注意いただきたいこと

JA 35

JA 36

こんなときには

2

ご注意いただきたいこと

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった	ぜんまいが巻かれていない。	「ぜんまいの巻きかた」→(P. 10)に従ってぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が進む／遅れる	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温に戻れば元に戻ります。この時計は気温5°C~35°Cで腕につけたときに安定した時間精度が得られるよう調整しております。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は、元にもどりません。元の精度に戻すためには、脱磁(修理)をする必要があります。お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直しても精度が元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
	3年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	お買い上げ店にご相談ください。

現象	考えられる原因	このようにしてください
日付が日中に変わる	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間分、針を進めてください。
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

2

ご注意いただきたいこと

JA 37

JA 38

製品仕様

2

ご注意いただきたいこと

機種	8L45
1.基本機能	3針(時・分・秒)、日付表示
2.振動数	28,800 振動／時間(8振動／秒)
3.精度	日差 + 10秒～-5秒 ただし、気温 5°C～35°Cにおいて腕につけた場合
4.駆動方式	ぜんまい巻(自動巻(手巻つき))
5.持続時間	最大巻上時 約 72 時間
6.使用石数	35 石

※上記精度は工場出荷時に調整されたものです。

※メカニカルウォッチの特性上、ご使用になる条件(携帯時間、温度、腕の動き、ぜんまいの巻き上げ量など)によっては上記精度の範囲を超える場合があります。